

10月10日 (月)	<p>体育の日</p>
10月11日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ■博報堂DYホールディングス(東1 2433.)の連結子会社の博報堂は、バックグループ(JQ 4306)に対するTOBを発表。バックグループは賛同を表明、TOB後に博報堂の完全子会社となる予定。 ■バックグループは携帯電話、家電等の営業支援・販促の請負・派遣を主な事業とするが、これは博報堂の既存事業には無い分野。バックグループを完全子会社化することにより、博報堂は戦略立案から顧客接点まで一気通貫したソリューション展開が可能となる。
10月12日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ■角川グループホールディングス(東1 9477)は、リクルートの子会社メディアファクトリー(非上場)の株式取得を発表した。リクルートから100%の株式を80億円で譲り受ける。メディアファクトリーの直近業績は、売上高189億円、営業利益7億円、純資産116億円(2011年3月末)。 ■メディアファクトリーはリクルートの書籍出版部門が分離される形で1986年に設立。書籍情報誌「ダ・ヴィンチ」で有名であるが、アニメ・音楽出版・パッケージソフト制作・キャラクター商品・ポケモン事業など事業展開は多岐にわたる。当該クロスメディア展開は角川GHDと親和性が高く、本件株式譲渡に至った。
10月13日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ■ドクターシーラボ(東1 4924)は、同社の取締役および従業員に対する新株予約権(ストック・オプション)の発行を発表した。有償・時価で1,000株発行する(行使時の払込金額:約4億90百万円)。 ■近時においては、新株予約権に業績などの「行使条件」を設定したうえで、「モンテカルロ・シミュレーション」で評価を行うケースが増えている。これは、従来のブラックショールズモデルや2項モデルでは、業績などの行使条件を織り込むのは数式上難しいが、モンテカルロだとそれが可能であるためである。また、行使条件を設定することで、ストック・オプションの発行コストを下げることが可能となる。 ■今回の新株予約権は、2013年7月期の経常利益が124.5億円を超過しない限り行使ができない。また、2012年10月27日までの間において、株価が権利行使価格(2011年10月12日付終値)の60%を下回った場合には、以降の行使が不可能となる。
10月14日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ■ナノキャリア(東マ 4571)は、第三者割当増資の払込完了を発表した。増資引受け先は、本年9月に業務提携(ライセンス・共同開発契約締結)を発表した中堅専門商社の興和(非上場)。調達金額は約2.9億円であり、研究開発費用に充当する予定。 ■ナノキャリアが興和と共同開発を進める「エピルビシンミセル」は、乳がんなどの治療に使う抗がん剤「エピルビシン」を独自の技術でナノサイズ(10億分の1サイズ)のカプセルにとじ込めたもの。細胞内Phの低下によりミセルから薬物が選択的に放出されるもので、抗腫瘍効果の向上が期待されている。

【本レポートに関するお問い合わせ先】
株式会社エスネットワークス 高桑 昌也
Tel:03-5573-4661 / m-takakuwa@esnet.co.jp
<http://www.esnet.co.jp/es/>

無料レポートの登録はこちら!
<http://esnet.ssslserve.jp/es/mailmagazine/>

月額2万円で経理・経営企画・財務研修が
受け放題
<http://www.esnet.co.jp/esr/>